

教室活動報告3：「舞台文化資源論実習」(2021年度)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 大阪市立大学文化資源学会 公開日: 2022-03-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小田中, 章浩 メールアドレス: 所属: 大阪市立大学
URL	https://doi.org/10.24544/ocu.20220325-004

教室活動報告 3

「舞台文化資源論実習」(2021 年度)

小田中 章浩

文化資源コース提供授業 舞台文化資源論実習 企画
リーディングドラマ公演『贗作・藪の中』
ー実習のまとめー

作成者：井上 ひかる

【公演の概要】

○日時

2022 年 2 月 9 日(水) 13:00 開場/13:30 開演 (上映時間約 60 分)

○場所

杉本キャンパス 本館地区 学生ホール(南食堂)2 階 会議室 2C 共同談話室

○キャスト/演出/脚本

井上 ひかる (文化資源コース 3 回)

江藤 莉里花 (表現文化コース 3 回)

大野 恭敬 (表現文化コース 3 回)

加藤 熙紘 (文化資源コース 3 回)

川崎 遥賀 (文化資源コース 3 回)

里中 優斗 (文化資源コース 3 回)

石手洗 椿 (文化資源コース 3 回)

○監修

小田中 章浩 教授

○観客数

27 名 (予約者 30 名、うち 4 名欠席、当日来場者 1 名)

○新型コロナウイルス感染症対策

- ・事前予約制
- ・観客の人数制限（30 人）
- ・受付時にアルコール消毒及び検温の実施
- ・常時室内換気
- ・公演中も含めキャスト全員常時マスク着用

○アフタートーク

小田中先生とキャストの生徒、観客を交えて公演に対する感想や質問などの交流を行った。

- ・キャストひとりひとりの感想
- ・観客の方からの感想
- ・セリフの割り振りについての裏話ーキャストの声質を活かせるセリフ選び
- ・小田中先生が考える、本授業を通して身につけてほしい政治力
 - ー企画を進める中心者と他の人との間で生じる摩擦をうまく調節する力
- ・公演の冒頭に台本決定の過程を入れた理由ー台本の外側も見せる現代演劇のトレンド
- ・現代における芸術作品の捉え方の主流
 - ー作者や時代背景、社会状況など、作品のバックグラウンドも含めて作品と捉える考え方



【公演までの準備】

○スケジュール

- 10月 台本案出し
- 11月 台本決定
- 12月 台本作成、チラシ作成
- 1月 稽古、宣伝
- 2月 本番、トレーラー作成

○宣伝方法

- ・Twitter 宣伝
- ・文学部棟と1号館にチラシを掲示
- ・各授業や部活でチラシを配布

○役割分担

台本作成：大野

演技指導：江藤

チラシ作成：井上

パワーポイント作成：里中

教室予約：加藤

Twitter 運営：川崎、石手洗

予約フォーム作成：川崎

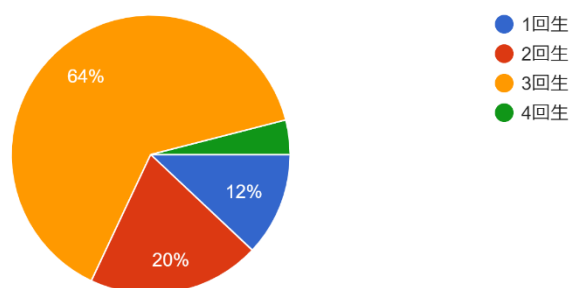
アンケートフォーム作成：井上

トレーラー（企画紹介動画）作成：井上、大野、里中

【アンケート結果】

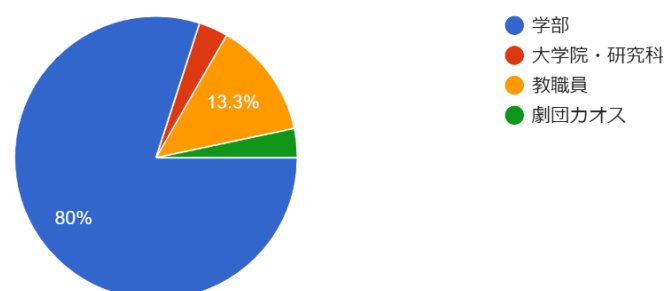
学年

25 件の回答



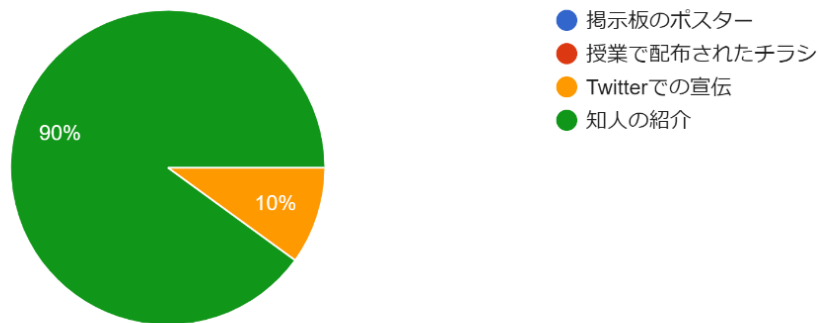
所属

30 件の回答



この公演をどのようなきっかけで知りましたか。

10 件の回答



○公演の感想

・藪の中を現代版に書き換えるという発想もおもしろいですし、演劇経験がほとんどないながらも皆さんとても演技がうまくて終始ぞわぞわしました。

アフタートークの時も雰囲気良くて、小田中先生が仰ったように7人で演劇を作るとなると不満が出てきたりしそうな中、とてもバランスよくみんなで協力して出来たものなのだなと感じました。

・芥川龍之介がとても好きで、今作も知っていましたが、また違う解釈での演劇がとてもおもしろかったです。みなさんとても仲良さそうで微笑ましかったです。ありがとうございました。

・知人の紹介で観に来てみたので、特に前情報もなく本公演を見させていただきましたが、とても面白かったです。特に昔の小説を現代の、その中でも何が真実かわからないインターネットの特徴を取り入れた、掲示板に置き換えたストーリーがとても面白くて、まさに今やる意味というものを実感致しました。また、全員が前を向いて役を演じることで、インターネットの匿名性を表現していたのも良かったです。

・期待以上でとても面白かったです。最初の台本決めのくだりは、多分実際やったやり取りだろうなとわかりました。

・脚本が現代風にアレンジされていてとても面白かったです。また、物語に合わ

せて、背中を見せて演技するという構図が独創的で良かったです。

- ・面白かったです
- ・後ろ向きと、読むのがスマホ、というところが特に面白かったです
- ・メッセージ性がありながら、エンターテインメントとしてもとても面白かったです。
- ・藪の中という作品を知らなかったので、まず純粋に読んでみたいと思いました。現代版に改編されていて、完成までにも苦労されたのかなと思いました。現代のネット社会の怖さというか匿名性だからこそ分かる事実も中にはあったのかななど、多くのことを考えさせられました。また演劇初挑戦の方も多いとお聞きしましたが、感情がこもっているのをとても感じられ、のめり込まれました。同じ学生として、このような1つの作品を作り上げている皆さんが本当に凄いなと思いました。ありがとうございました。
- ・江藤さんの演技が素晴らしかったです。特に真砂の独白のシーンは圧巻でした。
- ・方言と標準語が混ざるのはわざとだろうか、と気になりました。

○来年度に見てみたい作品

- ・現代の社会問題を取り入れたお話
- ・今回のような短編が見たいです
- ・どんなものでも楽しみです。
- ・学生ならではの作品